

## 竹、新ビジネス提案書

全国で竹が膨大に繁殖し、今や竹公害、山のガンとも言われるほど厄介ものになっています。

多くの方々が様々な方法を考え、色々やっていますが、これといった良い方法はありません。

日本には、真竹・孟宗竹・破竹が 30%程度ずつあります。

真竹は日本の竹で、細かい竹細工などに使用できます。

孟宗竹は、タケノコを取る為中国から輸入された竹です。

破竹はあまり利用されていません。

竹は年間 7 倍も増え、山の広葉樹など根こそぎ蹴散らし繁殖します。

日本ではタケノコを採る人も減り、殆どの地区で竹林から竹藪に変わり、現在ではどうにもならない状態になっています。

何かに利用しようと、竹炭を始めた方、企業も含め 500 社とも言われていましたが、殆ど全て失敗しています。

竹が山を変え、何も利用価値のない竹藪が広がっているのです。

現在日本には、9800 万 t の竹があり、毎年 350 万 t 伐採しても減らないだけの竹があるのです。

孟宗竹で、タケノコが採りたいのなら、2m 以上間隔をあけ、竹を切り出して下さい。  
そうでないなら、また真竹・破竹などなら根っこから全部はがし竹が生えてこない山  
にします。

ここには、ドングリやリンゴなどを植えます。

これは将来、豚の餌に利用します。

次に、竹を切り出すとき、非常にきれいな竹、節と節間が詰まっているとか、面白い  
部分が多くあります。

これは破碎せず、地面から 2m 程度の良い部分を別にとります。

これに、別紙の様な竹酒などの加工品に変えます。

竹の加工品はいくつもありますが、なかなかこれといったヒット商品はありません。

竹酒は、大好評ですし、この技術で、竹の美を最大限生かしレーザーで名前を焼入れ、  
表札にします。

また、亀甲竹や、いぶし竹技術もあります。

竹藪から、燃料を取り、その地を養豚の餌になる様な果樹またドリンクなどの手のか  
からないものを植えるのです。

竹を全部、ビジネスに変えるのです。

そこで、環境対策・環境改善のプロである我々から画期的な方法をご提案します。

この竹藪再生は、いくつもの難しい条件をクリアしなければなりません。

- 1、 新規事業として成り立つ事
- 2、 新規雇用につながる事
- 3、 地域の再生につながる事
- 4、 継続可能な事業で、全国どこでも採用出来る事
- 5、 莫大な資金投資を必要としない事
- 6、 竹の大量消費が出来る事

この様な条件下で提案しますが基本的に竹は無料として資産します。

我々の持つ技術・ノウハウ・新事業への提案能力をご覧下さい。

先ず、大量に消費し事業化出来る方法です。

竹藪で、竹を 2cm 程度に破砕し、倉庫に山積みして置いて下さい。

笹の部分も一緒に、どの様な竹でも構いません。

この状態で、エコファイヤーの燃料としてそのまま販売出来ます。

石油代替エネルギー、バイオマスエネルギーの資源です。

## 荒れ放題の竹藪の再生、雇用対策、循環型環境農業、新エネルギー

竹藪を確認し、比較的入りやすい場所で、孟宗竹なら竹と竹の間隔を、2m から 3m 開け、あとは全て切り出します。

こうする事で、竹林に生まれ変わりタケノコも生えてきます。

国産のタケノコなら売れます。

そして、余ったタケノコは小さいうちに採り出し、常に 2m 以上の間隔をあけた竹林を確保しておきます。

タケノコを採る気もない場合、採るのに苦勞する場所の竹藪は根っこから掘り出し、竹藪をなくします。

この場所の有効利用の一つはドングリ、姫リンゴなどの木を植えます。

将来、豚の餌などに使用します。

切り出した竹の有効利用が大切です。

節と節の間隔が狭く、厚い竹は、竹酒、竹の表札などに使用します。

あとは、5cm 程度に破砕します。

一部は、低温で炭化し、汚れた河川などの浄化に使用します。

再度、炭化し土地に帰し、良い土作りの材料とします。

最後に莫大に残る竹は、破碎し石油に代わるエネルギーとして使用します。

この新技術、バイオマスエネルギー燃焼装置があるからこそ全ての竹林問題が解決出来るのです。

現状として、全く何も出来ない、何も触る事も出来ない竹藪が、

1、 国産タケノコを採る場所に

これは人間の食べ物だけに限定せず、豚の餌などにも使用する。

2、 ドングリは豚の大好物ですし、リンゴも大好物です。

何より美味しい肉になり、餌としても売れます。

3、 竹の地面に近いところは、竹酒や竹の表札の材料となります。

加工技術を覚え、新規事業としても考えられます。

4、 竹炭も作りますが、低温でエコファイヤーを使用します。

非常に安価で、大量に作り、浄化材などにも使用し、使い終わったら再度炭化し、農業資材、土壌に返します。

5、 一番の利用方法は、新エネルギーとして、CO2 も出さないバイオマスエネルギーとして燃料（資源）として販売します。

つまり、竹藪は、事業になるのです。

ここに雇用を生み出し、新事業とするのです。